

2. 学部・大学院の主催事業など

【人文学部】

名 称・開催日	講 師	内 容	
中間報告会「課題解決型学習と主体的な学び —大学生のチャレンジ2014—」		文部科学省GP「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の採択を受け、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人材育成の取組みを行ってきました。本事業において弘前大学は、「地域企業と実践する課題解決型学習による主体的な学び」を取組テーマとして掲げ、人文学部と農学生命科学部を中心に課題解決型学習（PBL）に積極的に取り組んでいます。今回は、学生が主体的に学んできた課題解決型学習の中間報告会を行います。	
平成26年7月18日(金)	なし		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】 コラボ弘大8階八甲田ホール 【対 象】 一般市民 【定 員】 120人 【参加費】 無料		125人	弘前大学人文学部

名 称・開催日	講 師	内 容	
二国間交流事業共同セミナー 「地域人材流出問題と地域発展政策」		本フォーラムは、「人口減少時代における持続可能な地域づくり」をテーマとし、諸外国における具体的先行事例を学び、有効な地域づくり政策を模索することを目的としています。	
平成26年10月17日(金)	慶北大学校経済通商学部 教授 オムチャンオク 啓明大学校経済金融学科 教授 キムヨンチョル ほか		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】 弘前市民文化交流館 【対 象】 一般市民 【定 員】 120人 【参加費】 無料		110人	弘前大学地域未来創生センター

名 称・開催日	講 師	内 容	
特別展「東北の弥生化—縄文時代が変わるとき—」		弘前大学北日本考古学研究センターが保有している貴重な遺物を一般公開いたします。	
平成26年10月18日(土) ～平成26年11月24日(月)	なし		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】 弘前大学北日本考古学研究センター展示室 【対 象】 一般市民 【定 員】 なし 【参加費】 無料		810人	弘前大学北日本考古学研究センター

名 称・開催日	講 師	内 容	
弘前大学フォーラム 「課題解決型学習と主体的な学びⅢ —大学生のチャレンジ2014—」		文部科学省GP「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の採択を受け、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人材育成の取組みを行ってきました。本事業において弘前大学は、「地域企業と実践する課題解決型学習による主体的な学び」を取組テーマとして掲げ、人文学部と農学生命科学部を中心に課題解決型学習（PBL）に積極的に取り組んでいます。今回は、1年間学生が主体的に学んできた課題解決型学習の成果報告会を行います。	
平成26年12月19日(金)	なし		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】 ホテルナクアシティ弘前 【対 象】 一般市民 【定 員】 120人 【参加費】 無料		118人	弘前大学人文学部

【医学研究科】

名 称・開催日	講 師	内 容	
ロコモティブシンドローム		ロコモティブシンドロームを正しく理解していただくための一般向けの公開講座です。専門の医師が、「ロコモティブシンドロームって何?」「ロコモと脊椎疾患(せぼねのびょうき)」「膝の痛みがロコモを引き起こす」についてわかりやすく解説します。	
平成26年 9月 5日(金) 18:00~20:00	弘前大学医学研究科 整形外科講座 教授 石橋 恭之 弘前大学医学研究科 整形外科講座 助教 田中 利弘 つがる総合病院 整形外科 医長 佐々木英嗣		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】 弘前大学医学部コミュニケーションセンター 【対 象】 一般市民 【定 員】 100名 【参加費】 無料		67人	【主催】 弘前大学医学研究科広報委員会 【共催】 公益社団法人青森医学振興会

名 称・開催日	講 師	内 容	
顔の医学・皮膚の医学		顔の医学・皮膚の医学を正しく理解していただくための一般向けの公開講座です。専門の医師が、「帯状疱疹」「最近の形成外科治療」についてわかりやすく解説します。	
平成26年 10月18日(土) 14:00~16:00	国立病院機構弘前病院 皮膚科 医師 熊野 高行 弘前大学医学研究科 形成外科学講座 教授 漆館 聡志		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】 弘前プリンスホテル 【対 象】 一般市民 【定 員】 制限なし 【参加費】 無料		54人	【主催】 弘前大学医学研究科広報委員会 【共催】 国立病院機構弘前病院・公益社団法人青森医学振興会

【理工学研究科】

名 称・開催日	講 師	内 容	
「地質の日」 in 弘前2014		5月10日の「地質の日」にちなみ、地質学に関する催しを行い、市民の方が地球について考えるきっかけとして頂くことを目的とする。午前は、小・中学生を対象に恐竜のペーパークラフト作成を行い、午後は一般の方（概ね高校生以上）を対象に、広い意味で地質に関連する「場所によって異なる地震のゆれ」、「南極の氷から見える地球環境」、「津軽半島の生い立ちと断層」の3講演を行った。	
平成26年 5月10日(土) 午前(ペーパークラフト) 10:00~12:30 午後(講演) 13:30~15:00	弘前大学理工学研究科 准教授 片岡 俊一 弘前大学理工学研究科 講師 根本 直樹 弘前大学理工学研究科 助教 堀内 一穂		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】 弘前大学理工学部 1号館 【対 象】 午前 小・中学生（小学校低学年は保護者同伴） 午後 高校生以上 【定 員】 午前 15名程度（要事前申込・応募多数の場合は申込順） 午後 20名程度 【参加費】 無料		午前 2名、 午後 約20名	弘前大学理工学部地球環境学科、 弘前大学自然防災研究センター（予定）

名 称・開催日	講 師	内 容	
2014年度「化学への招待」 弘前大学一日体験化学教室		先端科学・技術の一端を担う化学に興味を抱いてもらえるよう、高校生（中学生）を対象に開催した。	
平成26年 8月 6日(水) 10:00~16:30	弘前大学理工学研究科 教授 澤田 英夫 弘前大学理工学研究科 教授 糠塚いそし 弘前大学理工学研究科 教授 阿部 敏之 弘前大学理工学研究科 准教授 喜多 昭一 弘前大学理工学研究科 准教授 川上 淳 弘前大学教育学部 教授 長南 幸安 弘前大学被ばく医療総合 研究所 教授 山田 正俊		

会場・対象・定員・参加費	参加人数	主催・共催
【会場】 理工学研究科、教育学部 【対象】 高校生（中学生・一般も可） 【定員】 60名 【参加費】 無料	46名	日本化学会東北支部・弘前大学理工学研究科

名称・開催日	講師	内容
夏休みの数学2014		
平成26年8月7日(木) 平成26年8月9日(土)	弘前大学理工学研究科 教授 中里 博 弘前大学理工学研究科 助教 江居 宏美	中学校や高等学校の数学の教科書に出てくる数学の世界のすぐ近くに面白い話題がたくさんあり、そのような数学の魅力を高校生や一般市民に紹介した。

会場・対象・定員・参加費	参加人数	主催・共催
【会場】 弘前大学理工学部2号館 【対象】 中学校、高校の数学担当教員、一般市民、高校生 【定員】 両日とも40名 【参加費】 無料	33名	弘前大学理工学部

名称・開催日	講師	内容
楽しい科学		
平成26年10月26日(日) 10:00~16:00	弘前大学理工学研究科 教員約15名	理工学部の実験室を小・中学生に開放し、教員や学生のていねいな指導のもとでいろいろな実験や実習を体験してもらった。

会場・対象・定員・参加費	参加人数	主催・共催
【会場】 弘前大学理工学研究科 【対象】 小学生、中学生とその父母 【定員】 なし 【参加費】 無料	725名 (楽しい科学・サイエンスへの招待合わせて)	弘前大学理工学研究科

名称・開催日	講師	内容
サイエンスへの招待		
平成26年10月26日(日) 10:00~16:00	弘前大学理工学研究科 教員約15名	理工学部で行っている最新の研究や社会のために役立つ研究の内容を、教員や学生がわかりやすく紹介した。また、いろいろな実験や実習の体験をとおして科学の面白さに触れてもらった。

会場・対象・定員・参加費	参加人数	主催・共催
【会場】 弘前大学理工学研究科 【対象】 小学生、中学生、高校生、一般 【定員】 なし 【参加費】 無料	725名 (楽しい科学・サイエンスへの招待合わせて)	弘前大学理工学研究科

【農学生命科学部】

名 称・開催日	講 師	内 容	
親子体験学習「触れ合おう、人と自然と農業に」			
平成26年5月24日、 6月14日、9月27日、 10月18日、11月1日 (いずれも土曜日) 第1回目、第3回目及び 第5回目は、 9:30~15:30 第2回目及び第4回目は、 9:30~12:00	弘前大学農学生命科学部 附属生物共生教育研究セ ンター教員等	自然や農業との触れ合いを通じて、環境と食 物生産の関わりを学ぶプログラム。さまざまな 体験型学習のメニューが用意されており、講師 の指導を受けながら親子が一緒に挑戦するもの です。また、学区や学年の枠を超えて、参加し た子供たち同士が交流を深める場を提供しま す。	
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター金木農場及び藤崎農場 【対 象】一般（小学生とその保護者を対象としています。但し、保護者が2名以上の場合には、小学生と共に未就学児の参加も可能です。） 【定 員】先着25組（保護者1名につき、子供2人までとします。） 【参加費】5回分の参加費として、大人1名につき1,000円（子供は無料）		のべ241名 (申込60名)	弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター

名 称・開催日	講 師	内 容	
公開講座「岩木川の水環境を学ぶ！」			
平成26年10月26日(日) 13:30~15:30	弘前大学農学生命科学部 地域環境工学科 教授 工藤 明 弘前大学農学生命科学部 地域環境工学科 教授 泉 完	1.「世界自然遺産白神山地が岩木川に果たす役割は？」 津軽平野を潤す岩木川は名実共に「母なる川」として、流域住民の生活に直接関わりを持っています。その水源である最上流部の白神山地にもたらされる降雨や流れ出る水の量と質より、下流河川の岩木川に果たす役割、又は及ぼす影響について考えて見ましょう。 2.「川の生態系を保全するための魚道を知っていますか？」 私たちは、農業用水や飲用水などに必要な水を川に堰をつくって取ります。ただ、せき止めてしまうとそこに棲んでいる魚などの行き来ができなくなります。そのために堰に魚の通路を設けます。この通路を「魚道」といいます。岩木川にある堰の魚道を例にしてその機能や魚道設計に必要な魚の泳力について学びましょう。	

会場・対象・定員・参加費	参加人数	主催・共催
【会場】 弘前大学農学生命科学部 302講義室 【対象】 一般市民 【定員】 70名 【参加費】 無料	31人	弘前大学農学生命科学部

名称・開催日	講師	内容
公開講座「リンゴを科学する」		主にリンゴ農家及びリンゴ関係者を対象として、リンゴの栽培方法、樹・果実の生理、病害虫の防除、土壌肥料、品種、流通、海外事情等についての話題をわかりやすく解説します。
平成26年11月29日(土)	弘前大学農学生命科学部 附属生物共生教育研究センター教員等	
会場・対象・定員・参加費	参加人数	主催・共催
【会場】 JAつがる弘前本店 3F ホール 【対象】 一般 【定員】 約150名 【参加費】 無料	105人	主催：弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 共催：弘前市

【地域社会研究科】

名称・開催日	講師	内容
津軽学公開講座 (あおもりリズム創発塾公開講座)		〈第1部〉 「今こそ、ねふた／ねふた」
平成26年11月28日(金)	学習院大学 教授 赤坂 憲雄 名古屋大学 教授 田中 重好 公益社団法人青森観光コンベンション協会 会長 奈良 秀則 立佞武多の館 館長 菊池 忠 黒石青年会議所OB 中田 伸一 企画集団ぶりずむ 代表 杉山 陸子 NHK エンタープライズ プロデューサー 菊池 正浩	〈第2部〉 「津軽学を語り、地域学のこれからを問う」

	フリーライター 永井 一顕 メディアプランナー 川島 大史 大学院地域社会研究科 客員研究員 三浦 俊一 大学院地域社会研究科 准教授 平井 太郎		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会場】 弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール 【対象】 一般 【定員】 85名 【参加費】 無料		50名	【主催】 弘前大学大学院地域社会研究科・津軽に学ぶ会

【白神自然環境研究所】

名称・開催日	講師	内容	
白神自然環境研究所セミナー			
平成26年 4月18日(金) 17:30～	弘前大学白神自然環境研究所 教授 石川 幸男 弘前大学白神自然環境研究所 准教授 中村 剛之 弘前大学白神自然環境研究所 助教 山岸 洋貴 ※その他の講師を予定	白神山地に関する生物、環境（気象・地象）、文化などについてセミナーを行う予定です。 5月以降の詳細は、ホームページ等 http://www.hirosaki-u.ac.jp/shirakami/ でお知らせいたします。	
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会場】 弘前大学創立60周年記念会館「コラボ弘大」8階 八甲田ホール 【対象】 どなたでも 【定員】 【参加費】 無料		45人	弘前大学白神自然環境研究所

名 称・開催日	講 師	内 容	
白神自然環境研究所観察会		白神山地に関する生物、環境（気象・地象）、文化などに触れる観察会を行う予定です。 6月以降の詳細は、ホームページ等 http://www.hirosaki-u.ac.jp/shirakami/ でお知らせいたします。	
観察会「春の観察会～観察園を歩こう～」 平成26年 5月16日(金) 13:00～ ※6月以降の日程及び回数は未定です。	弘前大学白神自然環境研究所 教授 石川 幸男 弘前大学白神自然環境研究所 准教授 中村 剛之 弘前大学白神自然環境研究所 助教 山岸 洋貴 ※その他の講師を予定		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】 西目屋村川原平 弘前大学白神自然環境研究所附属白神自然観察園 【対 象】 どなたでも 【定 員】 【参加費】 保険代として一人100円を当日徴収します。また、定員を設定して先着順になる可能性もあります。		25人	弘前大学白神自然環境研究所

名 称・開催日	講 師	内 容	
白神自然環境研究所シンポジウム		ひろだい白神レーダーの開設を記念したシンポジウムを開催し、気象レーダーを用いた白神山地生態系と青森県の気象災害の今後の研究について、また、地域の防災関係者と共に気象レーダーの活用について議論を行う。	
「ひろだい白神レーダー開設記念シンポジウム 一津軽の空を見守る新しい眼一」 平成26年 9月27日(土) 12:00～17:00 平成26年 9月28日(日) 9:30～12:00	弘前大学白神自然環境研究所 教授 石川 幸男 気象庁気象研究所 楠 研一 琉球大学理学部 准教授 山田 広幸 弘前大学農学生命科学部 教授 工藤 明		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】 弘前大学創立60周年記念会館「コラボ弘大」8階 八甲田ホール 【対 象】 どなたでも 【定 員】 【参加費】 無料		2日間で のべ 123人	弘前大学白神自然環境研究所 弘前大学理工学研究科寒地気象実験室

名 称・開催日	講 師	内 容	
白神自然環境研究所セミナー		重要な財産である生物情報の共有化の現状について理解し、青森県におけるネットワークづくりを考える	
「生物情報ネットワークを構築するためには」～青森県でみつけて、つないで、発信する～ 平成27年2月13日(金) 14:00～17:00	国立科学博物館 細矢 剛 福田 知子 神奈川県立生命の星・地球博物館 大西 亘 栃木県那須野が原博物館 多和田潤治 東京大学総合研究博物館 矢後 勝也 青森市森林博物館 辻村 収 弘前大学白神自然環境研究所 准教授 中村 剛之		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】弘前大学創立60周年記念会館「コラボ弘大」8階 八甲田ホール 【対 象】 どなたでも 【定 員】 【参加費】 無料		100人	弘前大学白神自然環境研究所

【附属図書館】

名 称・開催日	講 師	内 容	
附属図書館リニューアルオープン記念講演会 「演劇から考えるコミュニケーション」		附属図書館リニューアルオープンを記念し講演会（ワークショップも含む）を開催した	
平成26年12月2日(火)	劇作家・演出家 平田オリザ		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール 【対 象】 どなたでも 【定 員】 【参加費】 無料		約150名	弘前大学附属図書館

【COI研究推進機構】

名 称・開催日	講 師	内 容	
第1回弘前大学COI特別講演会		健康寿命を延ばすための健康づくり・街づくり ～名古屋大学における取り組みを中心に～	
平成26年 4月28日(月) 14:00～15:30	名古屋大学総長補佐 医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援 センター教授 COI構造化チーム委員 水野 正明		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】 弘前大学大学院 医学研究科 基礎大講堂 【対 象】 一般市民・学生・医療関係者・大学・企業・ 研究機関等 【定 員】 制限なし 【参加費】 無料		約70人	【主催】 弘前大学COI研究推進機構

名 称・開催日	講 師	内 容	
第2回弘前大学COI特別講演会		京都大学のCOI戦略 ～ながはまコホートと地域に 根ざした未来型健康づくりの試み～	
平成26年 7月 8日(火) 15:00～16:30	京都大学大学院医学研究 科 附属ゲノム医学セン ター長 松田 文彦		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】 弘前大学大学院 医学研究科 基礎大講堂 【対 象】 一般市民・学生・医療関係者・大学・企業・ 研究機関等 【定 員】 制限なし 【参加費】 無料		約80人	【主催】 弘前大学COI研究推進機構

名 称・開催日	講 師	内 容	
第3回弘前大学COI特別講演会		東北大学のCOI戦略 ～さりげないセンシングと日常人間ドックで 実現する理想自己と家族の絆が導くモチ ベーション向上社会の創生～	
平成26年 8月 4日(月) 13:30～15:00	東北大学COI拠点 プロジェクトリーダー (株式会社 東芝 ライフ サイエンス部 部長) 高山 卓三		

会場・対象・定員・参加費	参加人数	主催・共催
【会場】 弘前大学大学院 医学研究科 基礎大講堂 【対象】 一般市民・学生・医療関係者・大学・企業・研究機関等 【定員】 制限なし 【参加費】 無料	約80人	【主催】 弘前大学COI研究推進機構

名称・開催日	講師	内容
第4回弘前大学COI特別講演会		
平成26年9月24日(水) 13:30~15:00	東京大学COI拠点 機構長 (三菱化学テクノロジーサーチ特別顧問) 池浦 富久 東京大学COI拠点 副機構長 (テルモ株式会社理事) 野尻 知里	東京大学のCOI戦略 ~若者と共存共栄する持続可能な健康長寿社会の実現~
会場・対象・定員・参加費	参加人数	主催・共催
【会場】 弘前大学大学院 医学研究科 基礎大講堂 【対象】 一般市民・学生・医療関係者・大学・企業・研究機関等 【定員】 制限なし 【参加費】 無料	約80人	【主催】 弘前大学COI研究推進機構

名称・開催日	講師	内容
第5回弘前大学COI特別講演会		
平成26年10月20日(月) 15:00~16:30	GEヘルスケア・ジャパン株式会社 執行役員 技術本部長 星野 和哉	GEのイノベーションと日本の役割
会場・対象・定員・参加費	参加人数	主催・共催
【会場】 弘前大学大学院 医学研究科 基礎大講堂 【対象】 一般市民・学生・医療関係者・大学・企業・研究機関等 【定員】 制限なし 【参加費】 無料	約70人	【主催】 弘前大学COI研究推進機構

名 称・開催日	講 師	内 容	
第6回弘前大学COI特別講演会		地域発オープンイノベーションの基盤作りに向けて	
平成26年11月11日(火) 13:30~15:00	Center of Open Innovation Network for Smart Health (COINS) プロジェクト統括 (東京大学 大学院薬学系 研究科・特任教授) 木村 廣道		
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】 弘前大学大学院 医学研究科 基礎大講堂 【対 象】 一般市民・学生・医療関係者・大学・企業・ 研究機関等 【定 員】 制限なし 【参加費】 無料		約70人	【主催】 弘前大学COI研究推進機構

名 称・開催日	講 師	内 容	
弘前大学COIイノベーション・サミット		COI拠点のさらなる加速化のため、県民・国民の健康寿命延伸とQOL(生活の質)・GNH(幸福度)向上に向けて、新たな産業創出(社会実装)のあり方などについて徹底討論するため、産学官の関係者(トップ)が一同に会するサミットを開催します。	
平成27年1月30日(金) 13:00~17:00	COI STREAM ガバニング 委員会委員長 東京大学前総長/三菱総 合研究所理事長 小宮山 宏		
	COI STREAM ビジョン 1 ビジヨナリーリーダー 協和発酵キリン前社長/ (公財)加藤記念バイオサイ エンス振興財団理事長 松田 譲		
	GEヘルスケア・ジャパン(株) 代表取締役社長兼CEO 川上 潤		
	九州大学大学院医学研究 院 環境医学分野 教授 清原 裕		
	京都府立医科大学 COI-T (PL) (株)ベネッセスタイルケア 執行役員 西日本エリア 事業本部長 奥村 太作	他	

会場・対象・定員・参加費	参加人数	主催・共催
【会場】 ホテルナクアシティ弘前・プレミアホール 【対象】 一般市民・学生・医療関係者・大学・企業・研究機関等 【定員】 300名（先着） 【参加費】 無料	約450人	【主催】 弘前大学（COI研究推進機構）・青森県・弘前市・青森県医師会・弘前地区地域健康・医療推進協議会・(財)21あおもり産業総合支援センター・ライフイノベーションネットワーク青森（LINA）・（地独）青森県産業技術センター・ひろさき産学官連携フォーラム他 【共催】 （独）科学技術振興機構

【事務局】

名称・開催日	講師	内容	
弘前大学八戸サテライト「八戸地域学講座」			
平成26年12月3日 ～平成27年2月25日 の毎週水曜日 （ただし、12月24日、12/31、1/7は休講、第8回目については水曜日が祝日のため、2月12日(木)開講） 15:00～17:00	第1回 八戸市博物館館長 工藤 竹久 第2回 八戸歴史研究会会長 三浦 忠司 第3回 八戸市史編纂室職員 斎藤 潔 第4回 青森県立三戸高等学校教員 滝尻 善英 第5回 八戸都市計画審議会審議員 小瀧 勇 第6回 八戸漁業指導協会会長 熊谷 拓治 第7回 八戸工業高等専門学校名誉教授 本田 敏雄 第8回 八戸市史編纂委員 島守 光雄 第9回 元八戸市経済部次長 山内 輝雄 第10回 八戸サテライト客員教授 高橋 俊行	八戸の歴史や文化、トピックスなど、いわゆる「八戸学」を学ぶことにより、八戸地域の将来ビジョンをもって同地域のリーダー的役割を務める人材を育成することを目的として開講した。	
会場・対象・定員・参加費	参加人数	主催・共催	
【会場】 八戸サテライト 【対象】 市民一般 【定員】 24名 【参加費】 無料	第1回 23名 第2回 21名 第3回 19名 第4回 18名 第5回 16名 第6回 18名 第7回 22名 第8回 18名 第9回 18名 第10回 23名	弘前大学八戸サテライト	

名 称・開催日	講 師	内 容	
弘前大学八戸サテライト短命県返上「健康講座」			
平成27年 3月28日(土) 14:00～15:30	医学研究科長 社会医学 講座 教授 中路 重之	男女ともに平均寿命が全国最下位の青森県において、青森県南地域の住民を対象に、同講座を通して健康の大切さを幅広く理解してもらうとともに、弘前大学と青森県南地域とのさらなる連携の推進を図った。 テーマ「青森県の平均寿命の現状と背景&健康教養」	
会場・対象・定員・参加費		参加人数	主催・共催
【会 場】 八戸商工会館 4階 大会議室 【対 象】 青森県南地域の住民 【定 員】 100名 【参加費】 無料		107名	弘前大学八戸サテライト

名 称・開催日	講 師	内 容
2014年度 弘前大学シニアサマーカレッジ		
平成26年 9月 7日(日) ～平成26年 9月10日(水)	<p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エッセイイスト・弘前リードマン 片山 良子 ・広瀬矯正歯科クリニック院長 広瀬 寿秀 <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学研究科長・教授 中路 重之 ・病院長 藤 哲 ・医学研究科准教授 花田 裕之 ・医学研究科教授 加藤 博之 <p>3日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白神自然環境研究所教員 教授 石川 幸男 准教授 中村 剛之 助教 山岸 洋貴 <p>4日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弘前市立博物館長・弘前大学名誉教授 長谷川成一 ・弘前市公園緑地課参事(桜守) 小林 勝 ・弘前医療福祉大学・教授 齋藤三千政 	<p>全国の50歳以上のシニア層を対象とした地域滞在型学習プログラムを提供することにより、本学の持つ知を広くアピールするとともに様々な地域文化・地域人材を活用することで、地域振興をも視野に入れた学習プログラムを本学から発信することを目的にする。</p> <p>学内外の講師・教員等が弘前大学並びに弘前市・青森県の特性を中心とした講義（1講義90分）を行った。</p>

会場・対象・定員・参加費	参加人数	主催・共催
<p>【会場】 弘前大学（総合教育棟 4階404講義室、医学部臨床小講義室、白神自然環境研究所など）、津軽ダム、弘前市立観光館、弘前市立博物館、弘前公園</p> <p>【対象】 青森県内及び全国の50歳以上のシニアの方。50歳以上の方と同行する場合、50歳未満の方も参加できる。ただし、特別講義のみ受講する場合は、年齢制限は設定しない。</p> <p>【定員】 3日間コース 50名 特別講義2 50名 特別講義1 30名</p> <p>【参加費】 3日間コース 25,000円 特別講義2 15,000円 特別講義1 10,000円</p>	<p>3日間コース 18名</p> <p>特別講義1 18名</p> <p>特別講義2 なし</p>	<p>【主催】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 弘前大学 • 公益社団法人弘前観光コンベンション協会 <p>【後援】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 青森県 • 弘前市

Ⅲ. センター関連規則等

1. センター関連規則

(1) 弘前大学生涯学習教育研究センター規程

(平成16年4月1日制定)
規程第144号
最終改正：平27.3.20

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人弘前大学管理運営規則（平成16年規則第1号。以下「管理運営規則」という。）第6条第2項の規定に基づき、弘前大学生涯学習教育研究センター（以下「センター」という。）に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、学内共同教育研究施設として、生涯学習に関する教育（医学及び保健に関することを含む。）及び研究を行い、弘前大学（以下「本学」という。）の教育研究の進展と地域における生涯学習の振興に資することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 生涯学習に関する教育内容及び教育方法の研究
- (2) 社会人を対象とする公開講座等の生涯学習事業の実施
- (3) 生涯学習指導者の養成
- (4) 生涯学習に関する情報の収集及び提供
- (5) 生涯学習に関する相談事業
- (6) 生涯学習に関する調査・研究報告書等の刊行
- (7) メディカルコミュニケーションセンターの業務に関すること。
- (8) その他生涯学習に関すること。

(職員)

第4条 センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 専任教員
- (3) その他必要な職員

(センター長)

第5条 センター長は、センターの業務を掌理する。

(専任教員の選考)

第6条 センターの専任教員の選考は、国立大学法人弘前大学教員の資格及び採用等の方法に関する規程（平成16年規程第40号）第10条第2項で別に定める委員会の議を経て、学長が行う。

(センター協力教員)

第7条 センターに、センターが行う事業を円滑に実施するため、センター協力教員を置くことができる。

- 2 センター協力教員の任期は、担当する業務が終了するまでの期間とする。
- 3 センター協力教員は、学長が任命する。

(運営委員会)

第8条 センターの管理運営に関する事項を審議するため、弘前大学生涯学習教育研究センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会の組織及び運営については、別に定める。

(事務)

第9条 センターの事務は、研究推進部社会連携課において処理する。

(その他)

第10条 この規程に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年2月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年5月28日から施行し、改正後の規定は、平成21年4月1日から適用する。

附 則（平成22年5月17日規程第53号）

この規程は、平成22年5月17日から施行する。

附 則（平成23年7月28日規程第68号）

この規程は、平成23年7月28日から施行し、改正後の規定は、平成23年5月20日から適用する。

附 則（平成25年4月19日規程第74号）

この規程は、平成25年4月19日から施行し、改正後の規定は、平成25年4月1日から適用する。

附 則（平成26年5月16日規程第61号）

この規程は、平成26年6月1日から施行する。

附 則（平成27年3月20日規程第48号）

この規程は、平成27年3月20日から施行する。

(2) 弘前大学生涯学習教育研究センター運営委員会内規

(平成16年4月1日制定)
(最終改正：平25.4.19)

(趣旨)

第1条 この内規は、国立大学法人弘前大学管理運営規則（平成16年規則第1号）第95条及び弘前大学生涯学習教育研究センター規程第8条の規定に基づき、弘前大学生涯学習教育研究センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) センターの専任教員
- (3) 各部局から推薦された教員各1名
- (4) 学長が指名する教員以外の職員1名
- (5) その他委員長が必要と認めた職員

2 前項第3号の委員は、学長が任命する。

(委員の任期)

第3条 前条第3号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 前項の委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

2 委員長は、会議を招集し、その議長となる。

3 運営委員会に副委員長を置き、委員長が指名する委員をもって充てる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 運営委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

2 運営委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員の代理出席)

第6条 委員に事故があるときは、当該委員の指名した者が委員として代理出席することができる。

(委員以外の出席)

第7条 運営委員会が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第8条 運営委員会に専門的事項を調査し、又は企画、立案若しくは実施をするため、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の名称、組織及び運営については、運営委員会が別に定める。

(庶務)

第9条 運営委員会の庶務は、研究推進部社会連携課において処理する。

(その他)

第10条 この内規に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、運営委員会が別に定める。

附 則

この内規は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成16年10月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成17年10月28日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この内規は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

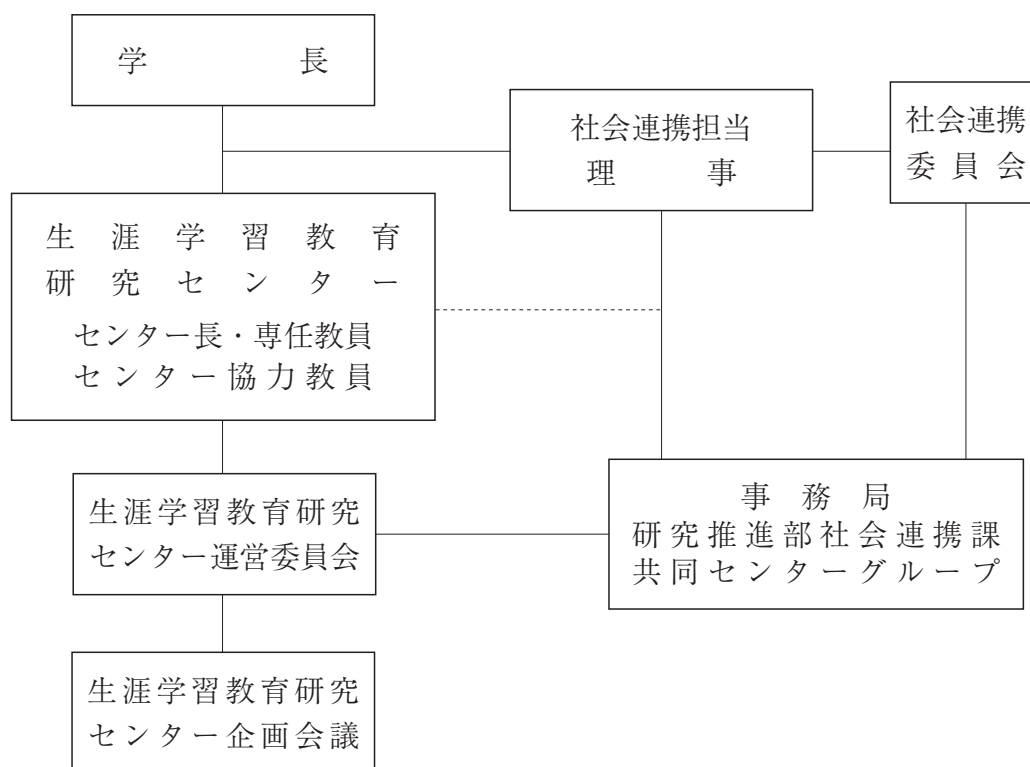
この内規は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年4月19日)

この内規は、平成25年4月19日から施行し、改正後の規定は、平成25年4月1日から適用する。

2. 機構・組織

センターの運営は、各部局から推薦された委員、学長が指名する教員以外の職員1名、センター長並びに専任教員が構成員となった「弘前大学生涯学習教育研究センター運営委員会」で、全学的な視野から検討されることになっています。



○生涯学習教育研究センター運営委員会

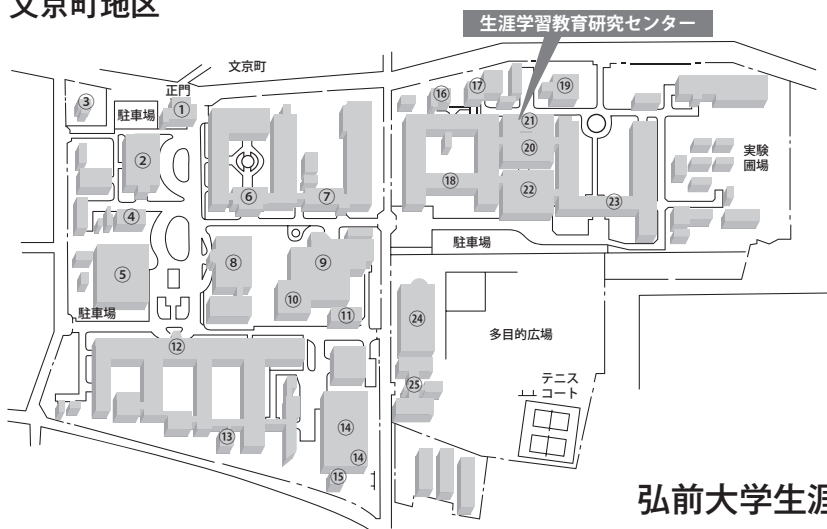
生涯学習教育研究センター	教授	曾我亨
生涯学習教育研究センター	准教授	藤田昇治
生涯学習教育研究センター	講師	深作拓郎
人文学部	准教授	小野寺進
教育学部	教授	大坪正一
医学研究科	教授	廣田和美
保健学研究科	講師	樽澤孝悦
理工学研究科	講師	岡崎功
農学生命科学部	准教授	大川浩
研究推進部社会連携課	課長	山田修平

○センター協力教員

人文学部	准教授	金目哲郎 (26.6.1~28.3.31)
教育学部	准教授	小瑠史朗 (26.6.1~28.3.31)
農学生命科学部	准教授	石塚哉史 (26.6.1~28.3.31)
白神自然環境研究所	准教授	中村剛之 (26.6.1~28.3.31)

3. 地図・連絡先

文京町地区



- | | | |
|-----------------------|-----------------|---------------------|
| ①案内所(守衛所) | ②事務所 | ③旧制弘前高等学校
外国人教師館 |
| ④保健管理センター | ⑤創立50周年記念会館 | ⑥総合教育棟 |
| ⑦人文学部校舎 | ⑧附属図書館 | ⑨学生食堂 |
| ⑩学生会館 | ⑪合宿所及びサークル共用施設 | ⑫教育学部校舎 |
| ⑬教育学部附属
教育実践総合センター | ⑭第一体育館 | ⑮弓道場 |
| ⑯地震火山観測所 | ⑰総合情報処理センター | ⑱理工学部1号館 |
| ⑲遺伝子実験施設 | ⑳附属コラボレーションセンター | ㉑農学生命科学部校舎 |
| ㉒創立60周年記念会館
コラボ弘大 | ㉓理工学部2号館 | |
| ㉔第二体育館 | ㉕武道館 | |

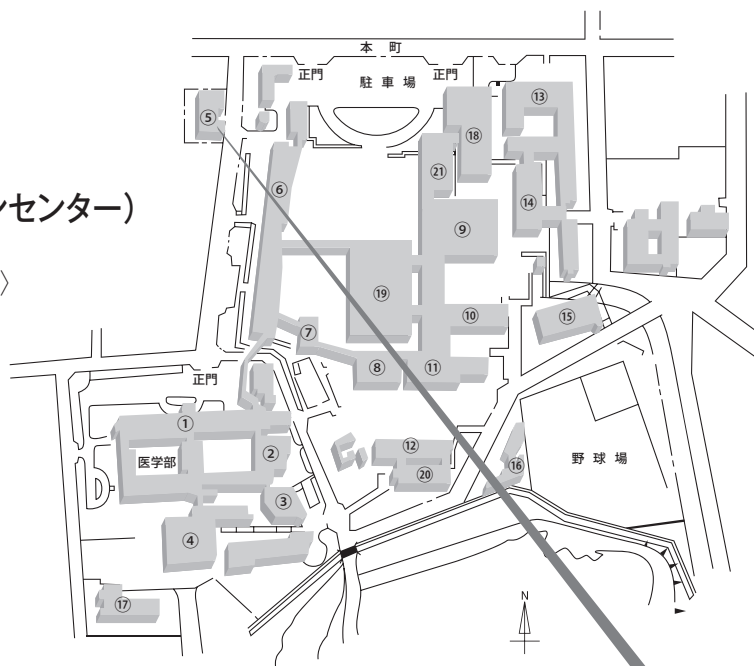
弘前大学生涯学習教育研究センター

〒036-8561 弘前市文京町3番地
TEL (0172) 39-3146 (直通)
FAX (0172) 39-3146

本町地区

分室(医学部コミュニケーションセンター)

〒036-8203 弘前市本町40-1
TEL (0172) 39-5240 (直通)
FAX (0172) 39-4056



- | | | |
|--------------------------|-------------|---------------------------------|
| ①医学研究科 | ②附属図書館医学部分館 | ③基礎講義棟 |
| ④附属動物実験施設
アイソトープ総合実験室 | ⑦臨床講義棟 | ⑧エネルギーセンター |
| ⑥臨床研究棟 | ⑨中央診療棟 | ⑩第二病棟 |
| ⑩一般管理棟 | ⑪保健学研究科 | ⑫総合研究棟 |
| ⑬体育館 | ⑭医学部会館 | ⑮本町地区共同利用施設
(附属高度先進医学研究センター) |
| ⑯立体駐車場 | ⑰外来診療棟 | ⑱ひろだい保育園 |
| ⑲高度救命救急センター | | |

事務局

研究推進部社会連携課 共同センターグループ

〒036-8561 弘前市文京町3番地
TEL (0172) 39-3914
FAX (0172) 39-3919

編集後記

『年報』の発行にあたってこの1年間を振り返ると、様々な出来事が脳裏に去来する。昨年12月の総選挙、今年4月の統一地方選挙、そして「集団的自衛権」の閣議決定から急ピッチで進められる法制化の動き等々、政治的な場面での「右傾化」には強い警戒心を抱かざるを得ない。マスコミなどでも、「日本社会の根本的な仕組みの変更が今なされようとしている」、と警鐘を鳴らしている例もあるが、必ずしも「大きな声」にはなっていないようだ。何年か後、「あのときが歴史の分岐点だった」と後悔することがなければ良いのだが…。

今回の『年報』では、生涯学習・大学開放に関わる論文1編と、NPO「harappa」の活動を紹介した実践報告1編が収録されている。また、生涯学習教育研究センターなどの事業がとりまとめられている。社会教育・生涯学習に関わりを持つ人をはじめ、多くの人々に読んでいただければ幸いである。 (藤田)

発行 平成 27 年 5 月 29 日

弘前大学生涯学習教育研究センター 年報 第 18 号

発行 弘前大学生涯学習教育研究センター

〒036-8561 弘前市文京町3番地

☎ (0172) 39-3146

印刷 やま と 印刷 株式会社

〒036-8061 弘前市神田4丁目4-5

☎ (0172) 34-4111

ANNUAL REPORT
CENTER FOR RESEARCH AND EDUCATION OF LIFELONG LEARNING
HIROSAKI UNIVERSITY
NO.18, 2015

CONTENTS

Academic Articles

- Cooperation and Lifelong Learning:
From the View Point of Career Education and Open University
FUJITA Shoji1
- Practice report of “*Children Movie Class @ Hirosaki 2014*”
OTA Shoko13

Activity Reports: Center for Research and Education of Lifelong Learning21

The Faculties and Other On-campus Organizations57

Rules and Organization73
